

■ 第 19 回世界土壌科学会議に参加

世界土壌科学会議(World Congress of Soil Science)は、4年に一度、世界中の土壌科学者が集う国際会議です。今回の会議では「世界を変えるための土壌科学からの提案」をメインテーマに、8 題の基調講演の他、360 題の口頭発表と 1224 題のポスター発表が行われました。

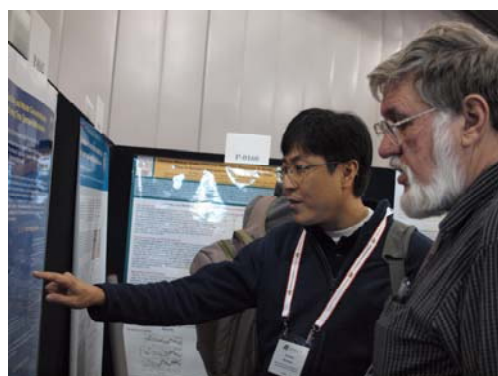
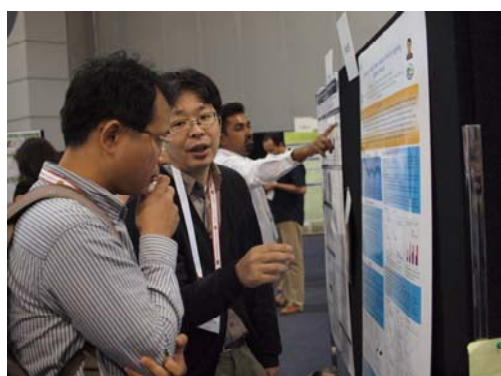
Dr. Colin Chartres (Director General of the International Water Management Institute (IWMI : 国際水管理研究所)) が、「土水管理手法の改善: 将来の食糧安全保障のために」と題した基調講演の中で、今後の食糧問題は水資源問題と関連するため、単位水量に対する生産性を向上させるための土水管理や廃水の安全な再利用に関する土壌科学の貢献に期待している、と発言しました。

これを聞いて私は、農村工学分野には貢献できる研究領域が多々あると思いました。



基調講演の様子

日本からも農業農村工学、土壌肥料学、土壌微生物学や林学等の研究者が多く参加していました。亀山主任研究員(左下の写真、左から 2 人目)と私、宮本(右下の写真、左側)もバイオマスを活用した土壌改良方法や土壌中の肥料成分のモニタリング手法についてポスター発表しました。



ポスター発表の様子